



つながり



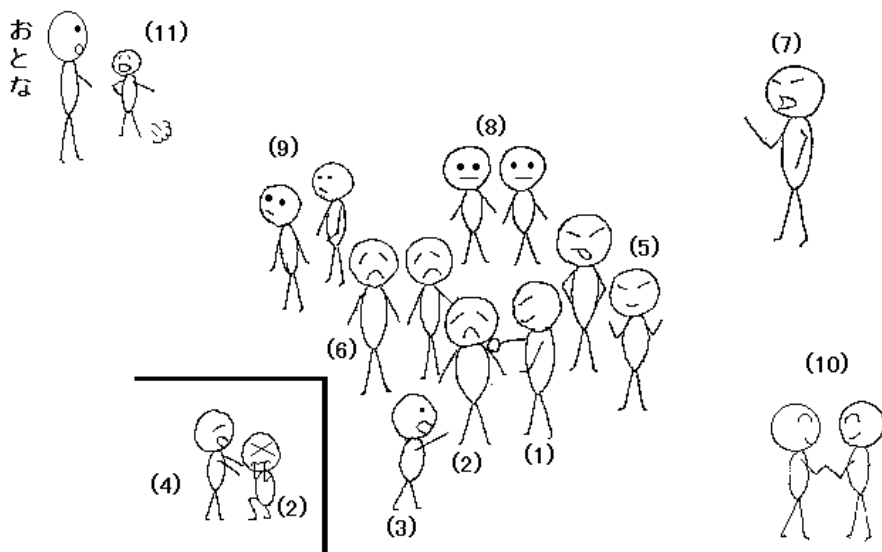
いじめについて考える日(5月13日)

この日は、^{おおさかしりつ}大阪市立のすべての^{がっこうえん}学校園で、いじめについて^{かんが}考える日でした。^{ほんこう}本校では、^{じどうちょうかい}児童朝会の時に、^{とき}校長が^{こうちょう}いじめに関する話をしました。

- ^{さくねんど}昨年度、^{ほんこう}本校で「いじめ」であると^{みと}認めた件数は、アンケートなどの^{けっか}結果、126件でした。^{けいさんじょう}計算上、2日に1件ぐらい^お起こっているという割合です。
- そのうち^{かいけつ}解決したのは、112件でした。残りの14件は、その時点では^{かいけつ}解決していませんでした。
- ^{ねんせい}6年生の人たちには、^{ねんせい}5年生の3学期の時に話しましたが、「いじめ」の^{ばめん}場面には、いじめている人、いじめられている人だけでなく、それ以外の人がたくさんいます。(下図参照)
- いじめをなくすためには、^{ほか}他の人たちがはっきりと「いじめはよくない!」「やめよう!」と^{おも}思って^{こうどう}行動することが^{たいせつ}大切です。

【いじめに登場する人たち】

- (1)～(11)はどんな人たちでしょうか？
- さて、あなたは、どのタイプかな？
- いじめをなくすには、どうすればよいのでしょうか？



- (1) いじめている人
- (2) いじめられている人
- (3) いじめをとめようと
している人
- (4) いじめられた人をな
ぐさめている人
- (5) いじめを見て喜んで
いる人
- (6) いじめを見て悲しん
でいる人
- (7) 「いじめはいけない」
と言っているだけの人
- (8) いじめを見て何も感
じない人
- (9) いじめを見て見ぬふ
りをする人
- (10) いじめがあることを
知らない人
- (11) おとなに助けを求め
る人

子どもたちは、(3)や(11)のような人が増えることが、いじめをなくすことにつながる
と言い、具体的な行動を起こすことが大切だと考えました。

その後、各学級でもいじめに関する学習が行われました。

6年3組では、「わたしのいもうと」（松谷みよ子 文 味戸ケイコ 絵 偕成社）から「いじめ」について考え、一人一人が意見・感想を書き記しました。

【どんなお話かというと…】

- ・わたしたちは、7年前にこの町に引っ越してきました。妹は当時小学4年生でした。
- ・妹は、「言葉がおかしい」、「跳び箱がとべない」、「クラスのはじさらし」などと言っていじめられました。そのうちだれも口をきいてくれなくなり、妹は学校へいけなくなりました。
- ・妹はご飯も食わず、口もきかず、やせおとろえていきましたが、お母さんの努力で命をとりとめました。
- ・妹は、中学生の年齢になっても、高校生の年齢になっても誰とも口をきかず、やがてひっそりと死んでしまいました。妹は、こんな言葉を紙に残していました。「わたしを いじめたひとたちは もう わたしを わすれて しまった でしょうね あそびたかったのに ベンきょうしたかったのに」

【子どもたちの感想・意見（一部を抜粋）】

- ☆ もし自分がいじめられている人だとしたら、同じ気持ちになり、いやな気持ちがあると思います。同じクラスの子は、いじめられている子を見て、無視する人もいます。家族にいじめられているというのは、自分ではなかなか言えません。わたしは、いじめられている人やいじめている人がいれば、放っておかずにすぐに気づけるようになります。



- ☆ いじめをなくすため考えたことが二つあります。一つ目は、いじめられているところやいじめているところを見たら、止めてあげようと思います。いじめられていて悲しんでいたら、声をかけようと思います。二つ目は、話しているとき「これを言ったら相手が傷ついてしまわないか」と考えることです。

- ☆ いじめられている人をなくすために、三つのことを考えました。一つ目は、いじめられて学校に来なくなる前に、いじめられている人に気づくことです。二つ目は話しかけることです。話しかけると言葉のつながりが生まれます。三つ目は、ひとりぼっちにしないことです。

- ☆ （いじめを）まわりの人が止められないのは、自分がやられたり仲間外れにされたりするからです。止めるのは勇気がいります。でも、止めることで、一人でも助けることができるかもしれないと私は思います。



- ☆ いじめはおそろしい。なにか一つでもいいやそうにしている子がいたら、「だいじょうぶ？」と聞き、大人に伝えられるような人になりたいです。

- ☆ いじめ、それは、人が苦しむことです。いじめ、それによって亡くなる人もいます。いじめ、やってはいけません。いじめ、やってなにが楽しいのでしょうか。決してやってはいけません。



このように、まわりの人の存在の大切さに子どもたちが気付いて、自分の意見として書いています。本校では、これからも、一人一人がしっかりとつながっていくことでいじめの早期発見・早期解決をめざしていきたいと思っています。